

各プログラムからのお知らせ

問合せ・お申込みは TIFA 事務局まで TEL/FAX 06-6840-1014 メール tifa99@nifty.ne.jp

<p>TIFA 多文化こどもカフェ 外国に何らかのルーツを持つ子どもと保護者のためのアットホームなカフェ。会食しながら子どもたちは一緒に遊び、保護者は子育てや教育について話し合います。開催日はお問合せください。(月1回 週末に開催予定)</p>	<p>日本語クラス ●ナイト漢字クラス(毎週火曜日) ●日本語交流サロン(毎週金曜日) いずれも 19:30~21:00 とよなか国際交流センターにて。学習者・ボランティアを募集しています。お問合せください。</p>	<p>元気の出る英会話 国際交流や国際協力活動をすすめるために必要な、英語でのコミュニケーション力をつけるためのクラスです。 毎週木曜日 9:30~10:40、10:50~12:00 とよなか国際交流センターにて 費用:月4回 5000円 入会金 2000円</p>
<p>ホストファミリー 主に大阪大学の留学生のホストファミリーを引き受けています。(宿泊は伴いません)毎年春と秋に新しいファミリーを募集しています。いろいろな国の留学生たちとの交流を楽しんでみませんか?</p>	<p>TIFA キッチン 今年は6月22日(土)にくらしかんにて「ルーマニア料理へようこそ」を開催しました。サパナでシェフをされているマリアさんから調理法を習い、ルーマニアのお話も聞きながら楽しいひとときを過ごしました。</p>	<p>TIFA ワールドクッカー 地域に住む外国人の方を講師に招き、「食」を通してその国の文化を体験する活動です。 11月30日(土) サパナでもお馴染みの聞小都さんを講師に招いて、「上海の家庭料理とお話」を開催しました。</p>
<p>TIFA グローバルサロン 国内外でさまざまな活動されている人のお話を聞く会です。 ●「私が歩んできた道」金光敏さん(コリア NGO センター事務局長) 2020年2月11日(月・祝)14~16時 すてっぷホールにて 異なる文化や背景を持つ人々と協力し、日本社会にどのように活力を生み出すのか、常に考え活動されている金さんのお話を聞きます。お気軽にご参加ください。(参加費:300円)</p>	<p>TIFA セミナー ●「日本の転機! 入管法改定で何が変わる?」(2019年7月27日) 新制度の内容と課題について早崎直美さん(RINK 事務局長)にお聞きし、外国人労働者との共生について話し合いました。 ●「最新映像から知るシリアやイラクの現状~どうなっているの? 女性と子どもたちの今」(2019年12月7日) ジャーナリスト玉本英子さんの報告会を開き、戦争と平和について考えました。</p>	

入会のご案内 Welcome!

- 正会員...入会金 2000円 年会費 6000円(月 500円)
TIFA で実際に活動を行う会員です。
- 賛助会員...年会費 一口 3000円 団体会員 10,000円
TIFA の活動を資金面で支援していただく会員です。
ニュースレター等で報告をお送りします。

ご寄付のご案内 よろしくお願いたします

- 一般(個人)・団体寄付... 随時、金額は自由です。
特定の活動へのご支援も歓迎いたします。
- 【振込先】郵便振替口座番号 00940-3-309179
加入者名: 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか
- ネパールなど海外での活動への寄付... 一口 5,000円より
- 【振込先】郵便振替口座番号 00910-8-308062
加入者名: TIFA 世界の女性と子ども支援基金

ご寄付のお礼 ありがとうございます

2019年4月~11月に以下の寄付金をいただきました。

- *大阪商工信金社会貢献賞 100万円 (TIFA の長年の活動への顕彰)
- *団体寄付 89,840円 (元気の出る英会話グループ他)
- *個人寄付 149,610円
- *ネパール等海外での活動への支援として:1,297,015円 (内訳:大阪鶴見ライオンズクラブ様よりネパール・ドダウリ村の小学校の改修費用として40万円。教育支援(里親会費)・給食支援など 847,565円、世界の女性と子ども支援49,450円)

上記以外にも、物品寄付やお手伝いなど、多くの方々にご協力いただいています。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



発行: 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

TIFA (国際交流の会とよなか)は、豊中市にて1985年11月に発足しました。メンバーと地域に住む外国人が協力し、言葉や文化、国籍が異なる人たちがともに生きやすい社会の実現を目指して活動しています。

事務局 〒560-0021 大阪府豊中市本町 3-3-3
Tel/Fax: 06-6840-1014
E-mail: tifa99@nifty.ne.jp
お問合せ・お申込みは 月~金曜 09:30~17:00
ホームページ: http://tifa-toyonaka.org/



Toyonaka International Friendship Association

TIFA ニュースレター Vol.38
特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか 2019年12月発行

NEPAL ♥ JAPAN
フレッシュな交流がスタートしました!

ネパールを訪問した大学生の声

関西学院大学で活動している国際交流団体 CLUB GEORDIE(クラブ・ジョーディー)です。私たちは3月にTIFAの方々の協力によってネパールへ行ってきました!ブンガマティ村ではホームステイをさせていただき、よりネパールに密着した時間を過ごしました。帰国後、現地でお世話になった NGO 団体チョータリへの感謝の気持ちを込めたお返しをするために、TIFAの方々とネパール料理教室を開きました。その収益の一部をチョータリの活動に寄付させていただきます。これからもTIFAの方々と協力しながら現地の方々への恩返しをしていきたいと思ひます。(関西学院大学 柴田梨緒菜さん)




The First Step to the World
ヤングジェネレーションも大活躍!
次世代につなぐ TIFA の活動

キャンプリーダーの声

TIFA 国際子どもキャンプ

子どもたちが世界の多様な文化を持つ外国人と出会い学ぶことで世界へ一歩踏み出し、はばたいてくれることを目標に、毎年夏休みに2泊3日のキャンプを実施しています。今年は13回目でした。次回は2020年8月19~21日に「わっぱる」(豊中市立青少年自然の家)にて開催予定です。



僕は新しいスケジュール帳を購入した直後、まず最初に新年度の「TIFA 国際子どもキャンプ」の日程を書き込みます。4月の欄も5月の欄もまだ真っ白なのに、8月の3日間だけは真っ先に予定を埋めちゃいます(笑)それくらい僕は、このキャンプが好きで仕方ありません!

このキャンプでは、子どもたちが外国人スタッフとの交流を通じて国際文化について学ぶという趣旨のもと、各国の挨拶や踊りを習得したり、野外炊飯、きもだめし、宿泊などのアクティビティを通じて友達と仲良くなったりと、毎年毎年子どもたちは大豊作で帰っていきます。

…なんて書いているうちにまたキャンプに行きたくなってしまいました(笑)

(大阪大学 山口隼平さん)



ネパール・ブンガマティ村から

現地の女性チームは2019年4月にNGO「チョータリ」のオフィス兼作業所を開きました。



パンチャさん(右)



チョータリとは大きな木の下での休憩場所の意味。



現地 NGO スタッフの声

ナマステ！(こんにちは)いつも私たちの作ったニットやプレスレットを使ってくださってありがとうございます！日本からの注文はこの4年間でだんだん増えてきました。また日本から何人もブンガマティまで会いに来てくれてとてもうれしいです。TIFA、原田校区、関西学院大学の皆様、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。(リーダー パンチャさん)

ウズベキスタン～大阪 青少年交流

大阪21世紀協会の助成を受けて、昨年に続き、2019年は、18～19歳のウズベキスタンからの日本語を学ぶ学生たち5名を招聘し、TIFA国際子どもキャンプ、桜塚高校の授業に参加し、双方とも良い評判で実施できました。



ウズベキスタンの高校生の声

キャンプでダンスを披露

こんにちは！イザディロです。キャンプはほんまに忘れられない3日間でした。自然がめっちゃきれいで、いろんな国の人や子どもたちと友達になれてとても楽しかった！ぼくは7年前から日本に来るのを夢みてました。その夢をかなえてくださったTIFAに感謝します。また来たいです！（イザディロさん）

スリランカとの交流

*2019年9月初めには、日本の幼児教育を学びたいという要望を受けて、スリランカから幼稚園教師4名を招聘し、日本のこども園、幼稚園を訪問し交流しました。大きな成果があったと喜ばれました。

*スリランカの日本語教師と学生3名は、9月26日から10月10日まで来日し、豊中では梅花高校で授業体験をし、サパナでの交流、ホームステイで楽しい時を過ごし帰国しました。研修生たちを家族の一員として受け入れてくださった方々、ありがとうございました。



アヌディとの時間 (西田真子さん)

ホストファミリーの声

「なおこさん！けいたさん！」一年ぶりに我が家に来てくれた彼女。変わらない人懐っこい笑顔の彼女に会えたのはホストファミリーとしては本当に嬉しかった。子どもたちともよく遊んでくれる彼女。休日は奈良公園と一緒に出かけ、今回は銭湯にも。スリランカでは裸で一緒にお風呂に入るような場所はないそうだが、マナーもすぐに理解して何の違和感もなく打たせ湯から露天風呂まで存分に楽しんだ。日本のアニメが何よりの大好物の彼女は「銭湯から出たら腰に手を当てて牛乳を飲むダヨネ！」とさりり… そんな事まで知っているとは！

彼女が帰国する日は私たちの20回目の結婚記念日。持参した5種類以上のスパイスとスリランカ米でお母さん直伝の本場のカレーを作ってくれた。大笑いしながら楽しく調理し、仕上がったカレーの美味しさは格別！生まれて初めて手でカレーを食べてみた。一生の思い出に残る食事となった。2回で20日足らずの滞在だったけれど、アヌディは我が家の大事な娘だと感じた宝物のような時間だった。この機会を与えて下さったTIFAの方々、サマンティカ先生、アヌディのご両親に心から感謝の気持ちを伝えます。



ネパール・ドダウリ村から

初めて足を踏み入れた25年程前は、でこぼこ道で、電気も井戸もなく、夜になれば真っ暗、明るくなったら動き出す・・・シンズリ郡の東端のドダウリ村は、今や出稼ぎであちこちに豪邸を建てたり、非差別部落にも政府の支援が入りはじめ、大きく変貌しようとしています。しかし、出稼ぎや仕事に就くことなどできない人たちも多いので、次世代の子どもたちへの奨学金や給食支援、キルト製作を通じた女性の仕事づくりなどを現地NGO・HANDSとともに続けています。



ザヌカさんの声

足が悪くて、家の中だけで生きてきたけれど、HANDSのトレーニングセンターの「キルトプログラム」を聞いて、自転車で40分くらいかかる道を弟に送り迎えをしてもらって作業に加わり、仲間もできて収入も得ることができ、生活が変わりました。送迎を頼んでいた弟が出稼ぎに行きくことになりましたが、サポートを得て、3輪のバイクを買うことができ、今はバイクで通って頑張っています。

TIFA 多文化子育てサロン

外国人親子がスムーズに社会に溶け込めるよう、情報交換や交流の場として毎月2回開催しています。

(第1・3木曜 10～12時 とよなか国際交流センターにて)

アメリカ出身の夫との間に息子が生まれ、TIFA主催の子育てサロンに通っています。国際交流センターの一室で、そこには乳幼児用の子どものおもちゃや絵本が沢山あります。元保育士さんやTIFAの方々が大人も楽しめる図画工作を教えてくれたり、童歌を歌ってくれたりします。親身になって子育ての悩みや相談にも乗って頂け、親も子どもとも癒され、楽しめる時間を過ごさせて頂いています。

(アブシャランファ友佳さん)

ヤングママの声



ネパール・サクー村から

現地 NGO スタッフより

農村女性の自立支援として、作業所の拡充と人材育成へ力を注いできました。また、山間部の貧困家庭の子どもへの教育支援および約120名の幼稚園～小学生の給食支援は、まだ、道半ばですが、限られた支援金と手作り品販売による売上金を資金にして、一步一步前に進んでいます。サクー村は2015年の震災に見舞われ、その後、村の活性化を目指して頑張っています。

(NGO 自立会・ネパール)



作業所の様子



就学支援している子ども達



山の学校の給食風景

“世界と出会う空間” カフェ・サパナ

地域の国際交流の場、外国人の就労支援・活躍の場として、2012年3月にスタートしました。以来7年半で50カ国以上のシェフが母国料理を紹介してきました。



タイ出身のジェーンさんとタイのランチ



facebook

シェフの声

サパナに来るまでは、日本語がほとんどわからず、知り合いも友たちもいなくて、とても寂しい日々でした。サパナで働きはじめてから、いろんなことを教えてもらい、日本語もだいぶ話せるようになって、自信がついてきました。子育ての心配事も相談にのってもらえます。はじめの頃は20人分をランチに間に合うように作るだけでも大変でしたが、今ではお弁当60食でも大丈夫です！（笑）お料理作りが大好きなので、サパナで働けてハッピーです！（ジェーンさん）